

## コンテスト・クリニックにおける感染症対策

慶進中学校・高等学校

コンテスト、クリニックの開催時の新型コロナウイルス感染状況が、令和3年3月時と同程度である場合、以下の対策を講じる。

コンテスト、クリニックの開催時に、新型コロナウイルス感染状況が悪化し、山口県に緊急事態宣言が出た場合は、開催を延期、もしくは中止する。

### 1. 密集を避けるために

- コンテスト会場を本校体育館（KSアリーナ：定員約850人、約820m<sup>2</sup>）とする。
- コンテストの発表者を2グループにわけ、各回の発表者を20～25人、観覧者も30人程度とする。
- コンテストの開閉会式は、全参加者40～50人とその観覧家族（約100名）が一堂に会するが、開会式は15分、閉会式は30分以内に留める。
- クリニックの会場を本校最大の集会場（KSホール：定員180人、約260m<sup>2</sup>）とする。
- 6人掛けのテーブルを2人で使用する。保護者は会場後方に椅子を用意し、十分間隔を取って座ってもらう。
- KSホールのテーブル数33台以上を要する場合は、参加者3人、バディ3人の1グループで、校内の通常教室（定員36人）を追加で使用していく。

### 2. 密接を防ぐために

- コンテスト会場では、参加者、観覧者ともに、各席の間隔を、前後左右2mとる。
- クリニックの参加者は各回30～40人程度と見込まれる。指導に当たる教員、ボランティアバディは計20～30人。6人掛けのテーブルを2人で使用した場合、互いに1m以上の間隔をあけることができる。

### 3. 密閉を防ぐために

- コンテスト会場はエアコンがなく、コンテストの性質上、ドア・窓を解放したままにはできない。そのため、30分毎に5分間の換気時間を設ける。
- クリニックは、会場の窓・ドアを解放したままで実施する。エアコン完備であり、暑い時期だが十分な換気が可能。

### 4. その他

- 受付にて、来場者全員の検温と手指の消毒を行う。
- コンテスト、クリニックともに、受付には各会場のエントランスホールを使用する。十分に広いので、来場者が十分に間隔を取って受付を行うことができる。
- コンテストにおいて、発表者はマスクを外してスピーチを行うが、各発表者が使用するマイクは、一人のスピーチが終わるごとに消毒したものと差し替える。
- コンテストの演台は、ステージ上にあるため、最前列の観覧者との距離が8m以上あるため、マスクを外してスピーチを行うことが可能。
- コンテスト、クリニックでの練習は、全参加者、ボランティアバディ、教員すべて、マスクを着用したまま行う。
- コンテスト、クリニックにおいて、演台を使用する際はアクリル板を設置する。
- 風邪症状、発熱のある場合は来校せず、コンテスト、クリニックを欠席するよう、事前の申し込みの際に、告知を徹底する。
- コンテスト、クリニックに参加した直後に、新型コロナウイルス感染症を発症した場合、もしくはPCR検査結果が陽性であった場合は、在住市町の保健機関の指示に従い、本校にも届け出るよう告知しておく。
- コンテスト、クリニックの開催日より遡って2週間以内に、緊急事態宣言発令地域、または海外への移動がある参加者については、参加を認めない。